

はまなす学級国語科学習指導案【改善版】

日 時 平成25年10月31日(木) 5校時

1 単元名 お話を楽しみながら、音読劇をしよう

2 教材名 おおきくなるって いうことは(中川 ひろたか 文、村上 康成 絵)

3 単元の指導目標

【国語科への関心・意欲・態度】

・物語を楽しみ、好きなどを話したり、友だちと協力して音読したりしようとしている。

【読む能力】

・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。〔C ア〕

・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。〔C オ〕

【書く能力】

・文章の内容と自分の経験とを結びつけたり、文章の内容から想像したりしたことなどから書くことを決め、必要な事柄を集めることができる。〔B ア〕

【言語についての知識・理解・技能】

・言葉には、事柄の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。〔イ (ア)〕

4 単元を貫く言語活動の特徴

記述に即して、「おおきくなるっていうことは」につながる事柄を正確に読み取り、自分の経験と結びつけて理解を深めるとともに、自分なりの「おおきくなるっていうことは」に対する考えをまとめ、動作化を加えながら音読する活動を位置づける。そのことから、「文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。」(指導要領の目標C オ)を実現するようにしている。

5 単元について

(1) 児童について

本学級は、1年女子1名、2年生男子1名、4年生女子1名の計3名である。1年女子は、音楽・体育・生活を交流学級で学習している。2年男子は、今年度から算数、音楽、体育、生活、図工を、4年女子は、音楽・体育・単元によって理科・社会・総合的な学習の時間を交流学級で学習している。交流学級の学習では、特別支援員の先生と楽しんで参加している。

今年度3人での「国語」では、記述に即して読む力をつけるための「音読」、内容の読み取りを確かなものにするための「動作化」を重点に取り組んできた。1学期には、登場人物が「3人」いる物語文「ぶらんこ」、絵本「3びきのこぶた」の読み取りと「動作化～寸劇～」に取り組んできた。

また、寸劇を居住地交流で訪れた児童の前で発表したり、生活単元学習で訪問した角浜小学校の児童の前で発表したりすることによって、より達成感を得ることができた。

国語に関する力や生活体験等の違いはあるが、学習への取り組みは3人とも意欲的であり、発言をしたり聞き合ったり和やかな雰囲気の中で学習を進めることが多かった。

2) 単元構成と指導に当たって

本単元「お話を楽しみながら、音読劇をしよう」は、本校1年生必読書でもある、絵本「おおきくなるっていうことは」(中川 ひろたか 文)を中心教材に扱う。

「おおきくなるっていうことは、ようふくがちいさくなるってこと」というような子どもたちにとって、より身近なところから、お話がすすむ。最後は「おおきくなるっていうことは、ちいさなひとに やさしくなれるってこと」「おおきくなるっていうことは、そういうこと。また ひとつ おおきくなった おめでとう みんな」というように、成長を祝う内容の絵本である。

第一次では、読み聞かせや読書タイムに、赤ちゃんの誕生から、成長していくお話や、小さい子の成長や動物の成長に関する図書に触れる。加えて、「おおきくなるっていうことは」のお話を音読劇にするイメージを持たせたい。

第二次では、「おおきくなるっていうことは」を読み、「おおきくなるっていうこと」は、「どういうことなのか」をとらえ、自分の体験と結びつけて、自分なりの「おおきくなるっていうこと」に関する考えをまとめる。

第三次では、まとめた考えを加えた「おおきくなるっていうことは」のお話を音読劇にし、発表するための準備を進める。児童の体験や思いに沿った部分を発表できるように分担し、動作化の工夫や練習時間とする。

6 単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	【言語についての知識・理解・技能】
・物語を楽しみ、好きなどころを話したり、友だちと協力して音読したりしようとしている。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。〔C ア〕 ・文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。〔C ウ〕	・文章の内容と自分の経験とを結びつけたり、文章の内容から想像したりしたことなどから、書くことを決め必要な事柄を集めることができる。〔B ア〕	・言葉には、事柄の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。〔イ (ア)〕

7 単元計画 (全 10時間)

次	時	学 習 活 動	○ 指 導 の 手 立 て	評 価
一	課外	・「あかちゃん」「あかちゃんてね」等の読み聞かせを聞く。	・教師の読み聞かせを聞き、おはなしの楽しさを感じたり、お話の共通点に気付いたりする。	【関】 ・物語に興味を持って取り組もうとしている。 (観察・発言) 【読】 ・お話の大体を理解している。(発言) ・お話の内容と関連する体験を思い出している。(発言)
	1	・「おおきくなるって いうことは」を全文読み、お話の大体をとらえる。	・教師の後に続いて一文読みする。あらすじを確かめる。 ・好きな場面や感想を発表する。	
	2	・学習の計画を立てる。	・1学期の学習を想起しながら学習の見通しを持つ。 ・2年4年児童は、既習漢字の確かめをする。	
おはなしを楽しみながら、音読劇にして演じよう。				
二	3	・全文を読み、「おおきくなるっていうこと」の具体的な事象を、自分の体験と関連づけて読み取る。 【情報の取り出し】	・「服が小さくなる・新しい歯がはえる・・・」等を全文を通して叙述に即して読み取る。 ・読み取ったことを、自分の体験と結びつけてとらえる。	【読】 ・「おおきくなるっていうことは」どういったことかを理解している。(発言) ・話の内容と関連している自分の体験を思い出している。 (観察・発言) 【書】 ・体験と結びつけて、自分なりの考えをまとめる。 (ノート)
	4	・「かんがえることができるってことも・・・」について、自分の体験と関連づけて読み取る。 【情報の取り出し】【解釈】	・「できるけど、してもいいかどうか」自分の体験に関連づけて話し合う。 ・発言がないときは、教師から事例を提示する。	
	5 本時	・お話の中で「1番大切なところ」を考える。 【情報の取り出し】【解釈】	・「ちいさいひとにやさしくなれるっていうこと」の意味を考える。 ・生活体験の中から、自分より小さな人への思いやりの気持ちや、自分の成長について気づく。	
	6	・自分たちの考える「おおきくなるっていうことは」について、話し合う。 【解釈】【熟考・評価】	・教師の助言を受けながら、生活体験の中から、自分の目標にできるような内容を探す。	
三	7 8	・3人ではまなす学級版「おおきくなるっていうことは」を作る。	○どこに行ったか、どんな話をしたかなど、具体的に考えさせる。	【読】語のまとまりや言葉の働きなどに気をつけて音読することができる。 (発表)
	9 10	・音読の分担を決め、音読劇の発表の練習をする。	○書いた後、動作化してみる。	
	課外	・音読劇の発表会をする。	○学級の見学の方、第2回居住地交流時、授業参観日、新1年生への発表会をする。	

8 本時の授業 (5 / 10)

(1) 目標

- 「おおきくなるっていうことは ちいさなひとにやさしくなれるってこと」が大切な部分であることがわかる。
- ◎「ちいさなひとにやさしくした」自分の体験を思い出し、吹き出しに書いたり、発表したりすることができる。

	学習の傾向 (アンケート結果含む)	評価規準	支 援
I・A (1年女子) 小学部 2段階	<ul style="list-style-type: none"> ・音読に意欲的に取り組む。 ・発音、発声に不明瞭なところがあるが、発言は意欲的。 ・ひらがなの読み書きは、1学期中に一通り学習し定着を図っているところ。 ・左利き。筆圧は強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で音読する。 ・「おおきくなるっていうことは」の具体的内容がわかる。 ・支援員の先生と一緒に、板書を視写したり、考えを書いたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読チェック表の提示による意欲づけをする。 ・本文を指でなぞりながら、聞くようにさせる。 ・苦手な文字は、点線によるガイドラインをなぞらせる。
O・M (2年男子) 中学部 4段階	<ul style="list-style-type: none"> ・当該学年の内容をほぼ理解できる。漢字の学習を好む。語彙が多い。 ・学習への取り組みは、意欲的。 ・作業を急ぐことがあり、ミスがかさむと意欲が激減する。 ・緊張感や気分の波により集中力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつひとつのことばをはっきりと音読する。 ・「おおきくなるっていうことは」の内容の主題をとらえることができる。 ・既習漢字を用いて、板書を視写したり、考えを書いたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口の開きや舌の動きを意識させて、丁寧に音読するように声がけをする。 ・具体的な体験を想起させる。 ・書き順にも気をつけて書くように声がけをする。
K・K (4年女子) 小学部 3段階	<ul style="list-style-type: none"> ・音読、視写等丁寧に取り組む。 ・ひらがな読み・書き、カタカナ読みはできる。カタカナ書きは1/3、1年漢字読みは、3/4、書きは、1/4程度。 ・人物の気持ちの読み取りができる。 ・生活体験を思い出して簡単な作文にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれていることを正確に音読する。 ・「おおきくなるっていうことは」の内容の主題をとらえることができる。 ・既習漢字を用いて、板書を視写したり、考えを書いたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読チェック表の提示により、意欲を喚起したい。 ・具体的な体験を想起させる。 ・苦手な文字は、支援を求められることができるように声かけをする。

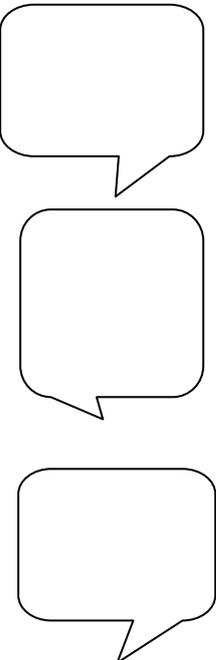
(2) 本時の展開

段階	主な学習内容と学習活動	指導上の留意点と評価
導入 8分	<p>1 前時までの想起をする。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>おはなしのなかで、1ばんたいせつなことは、なにかかんがえよう。</p> </div>	<p>○「とびおいても だいじょうぶかどうか かんがえられるってこと」から考える力がついてくることも「大きくなる」ということであることを確認する。</p>
展開	<p>3 全文を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに聞こえるような大きな声で、はっきり読みましょう。 <p>4 「おおきくなるっていうことは」に続く、内容を確認し、作者が考える「1ばんたいせつなところ」は、どこか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおきくなるっていうことは」どんなことでしたか。 【情報の取出し】 ・この中で、1番大切なところは、どれでしょう。 【情報の取出し】 ・「ちいさなひとにやさしくなれる」って、どういうことですか。 【解釈】 	<p>○音読チェックをしながら、ひとりひとり読む。よいところを探すようにする。</p> <p>○事前の学習を想起しながら確認したい。</p> <p>○順序不同に返ってくるであろう内容を価値づけながら、整理したい。</p> <p>○板書を視写する際には、必要があれば個別の支援計画に沿って支援する。</p> <p>☆1年女子は、支援員の先生と一緒に、2年男子、4年女子は、既習漢字を使いながら自分の力で書かせたい。</p>

34分	<p>5 自分たちの生活を振り返り、「ちいさなひとにやさしくした」体験を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなも「ちいさいひとにやさしくした」ことはありませんか。 <p style="text-align: center;">【解釈】</p>	<p>○想起した内容を吹き出しに書かせたい。</p> <p>☆1年女子は、支援員の先生と一緒に、2年男子、4年女子は自分の力で書かせたい。</p> <p>○自分たちの成長に気付かせたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分より「ちいさいひとにやさしくなれる」ことが「おおきくなる」こと、成長であることがわかる。 ・自分たちの体験を想起し、吹き出しに書くことができる。 </div>
終末 3分	<p>7 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日分かったことや、学習した感想を発表しましょう。 <p>8 次の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は、今日発表した自分たちの「ちいさなひとにやさしくした」体験や「おおきくなっての夢」などをたして、はまなす学級「おおきくなるっていうことは」を作りましょう。 	<p>○はまなす学級の3人の体験も加えて「おおきくなるっていうことは　そういうこと」につなげたり、将来の夢を加えたりしながら作ることを伝える。</p>

9 板書計画

まとめ
ことみ
まさき
あかり



ちいさなひとに　やさしくしたこと

ちいさなひとに　やさしくなれるってこと

おおきくなるっていうことは
かんがえられるってこと

おはなしのなかで、いちばんたいせつなことは、
なにか　かんがえよう。

おおきくなるっていうことは